

平成 25 年度皇學館大學史學會講演会

# 彼岸に誘う神

ほんじすいじやく

## 本地垂迹の中世

「本地垂迹」は神仏習合のプロセスの一段階として、日本中世固有の現象と捉えられがちである。しかし、本地垂迹を、不可視の超越神が認知可能な形態を取って現世に出現すること、といった広い意味で理解すれば、こうした事例は古今東西の社会に数多く看取しうる。今回の講演では古代・近世と比較しながら、「中世的」な本地垂迹の特質を明らかにするとともに、その独自性を規定した歴史的・文化的な背景について考えてみたい。

講師 佐藤 弘夫先生 東北大学大学院文学研究科教授

日時 10月24日(木) 午後4時30分～6時

場所 本学231教室(2号館3階)

三重県伊勢市神田久志本町1704番地 皇學館大学内

聴講  
無料

申込  
不要

### <講師紹介>

佐藤 弘夫 (さとう・ひろお) 先生

1953年宮城県生まれ。御専門は思想史。東北大学大学院文学研究科博士前期課程修了。盛岡大学助教授などを経て、現在は東北大学大学院文学研究科にて教授を務める。神仏習合、鎌倉仏教、国家と宗教、死生観などをキーワードに日本の思想を研究。実証研究をベースにしながら、想像力を駆使して大きな精神史のストーリーを組み立てることを目指す。

### <主要著書・論文等>

『アマテラスの変貌』(法蔵館、2000年、978-4-8318-7129-9)

『ヒトガミ信仰の系譜』(岩田書院、2012年、ISBN978-4-87294-766-3)

『死者のゆくえ』(岩田書院、2008年、ISBN978-4-87294-500-3)

『神国日本』(筑摩書房、2006年、ISBN978-4-4800-6295-6)

『概説日本思想史』(ミネルヴァ書房、2005年、ISBN978-4-6230-4303-3)

『偽書の精神史』(講談社、2002年、ISBN978-4-0625-8242-1)

「祟り・治罰・天災—日本列島における災禍と宗教」(日本宗教学会『宗教研究』373号、2012年)

「Kami that Beckon from the Far Shore」(東京大学大学院人文社会系研究科グローバル COE 研究室『Bulletin of Death and Life Studies』vol.8、2012年)

「総論 古代の思想」(ペリかん社『日本思想史講座』1古代、2012年 ISBN978-4-8315-1320-5)

「天皇像の変容—頭(かぶ)の歴史学から冥頭(みよがしら)の歴史学へ」(法蔵館『冥頭論』、2012年、ISBN 978-4-8318-5685-2)

「中世「仏教」文明の形成と君主権」(勉誠出版『「仏教」文明の受容と君主権の構築』2012年、ISBN978-4-8315-1320-5) その他多数。

※ 本件に関するお問い合わせは、文学部国史学科研究室(3号館3階、0596-22-6456)まで